

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名「探ろう！伝えよう！漆（japan） ～未来へつなぐ自慢の浄法寺漆～」

日 時 平成29年9月29日（金）
場 所 二戸市立浄法寺小学校 5年教室
児 童 5学年（男子16名・女子19名）
指導者 佐藤 真太郎

1 児童と単元について

（1）児童について

子どもたちは、浄法寺が有名な漆の産地であることを知っている。5年生の1学期には、地域に伝わる伝統への親しみと理解を深めるために、総合的な学習の時間を使って漆塗り絵付体験をした。筆で、漆の絵の具の感触を楽しみ、多くの児童が漆塗りに興味をもった。その後も、漆かきの仕事や、漆塗りができるまでの様子について話を聞き、漆の採り方や漆器の作り方に興味を広げていった。しかし、浄法寺漆の質のよさや、抱える課題などについては、まだ気付いていない。

前単元の「葉たばこの町 浄法寺」では、浄法寺で盛んな産業である葉たばこを二戸市の人たちに知ってもらうために、インタビューなどの方法で調べたことをまとめて、ラジオ放送の原稿を考えたり、模造紙にまとめて表現したりすることができた。しかし、発信する目的、内容、対象と発信方法のよさを関連付けて思考し、発信方法を考えるということではできていない。

（2）題材について

二戸市浄法寺町は、古くから漆の産地として多くの漆掻き、木地師、塗師が住んでいたといわれ、「浄法寺塗り」は広く親しまれてきた。現在は国産漆の約7割を生産し、生産量、品質ともに日本一の漆の産地である。漆の木は生育に適していて、漆の木が豊富で、全国でもまれな優良品種の漆であると認められている。全国の漆器の生産地でも、浄法寺のように漆掻きから漆塗りまで行っている所はほとんどない。今や浄法寺の漆は、文化財の修復や高級漆器の製造に欠かせないものとなっている。また、最近は海外にもPR活動をしており、「浄法寺塗り」は外国でも関心を集めている。テレビや新聞などでも報道され、浄法寺の漆が有名であることを知っている子も多い。しかし、近年では、漆かき職人の数や原木の数が需要に対して十分ではないことが課題となっている。後継者不足によって、漆かき職人の高齢化も深刻化してきている。

このように、漆は、子どもたちが住む浄法寺で生産されており、それに携わる方々が身近に存在することで、関わりをもちながら調べることができる。そして、日本一、世界一の浄法寺漆を残し、未来へつなぐという、意欲をもって活動を進めていくことができる題材であると考えられる。

2 指導にあたって

（1）単元構想

本単元では、今後の浄法寺漆について考え、未来につなぐにはどうしたらよいかという課題意識をもち、子どもたちが考えた方法を実行するために、浄法寺漆について情報収集し、情報を適切に選択したり、表現したりすることができるようにしたいと考える。

「つかむ」「みとおす」段階では、実際に浄法寺塗りのお椀やアクセサリに触れたり、世界遺産の修復にも使用されていること、国内で使われている漆は約97%が外国産で、国産の漆は約3%しか使われていないこと、そしてそのわずかな国産の漆の大半を生産しているのは浄法寺であること等の資料をもとに考えたりする。それにより、浄法寺漆のすばらしさや貴重さについて十分に気付くことができるようにしたい。また、このようにすばらしい浄法寺漆であるが、後継者が少ないという事実を示し、私たちが誇る浄法寺漆を残し、未来へつなぐ方法を考え、実行しようとする課題意識につなげていきたいと考える。

「やってみる」段階では、実際に漆掻きの様子を見学したり、ゲストティーチャーを迎えてインタビューをしたりする活動を行う。その中で、体験活動や資料、インタビューから必要な情報を収集し

たり、選択したりしながら課題解決につなげていく課題追究能力や、場に応じた適切な言葉遣いで伝えたいことを話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりするコミュニケーション能力を育成したい。

「まとめる・ひろげる」段階では、発信する目的、内容、対象と発信方法の良さを関連付けて思考し、発信方法を考えるという活動を行いたい。そして、集めた情報を整理し、適切な発信方法を選択し、根拠を明確にして話し合う力を育成したい。

(2) 表現活動について

本単元では、今後の浄法寺漆について考え、未来につないでいくにはどうしたらよいかという課題意識をもとに、子どもたちが考えた方法で発信していく活動を行う。その中で、適切な発信方法を選択する力や根拠を明確にして話し合う力を育成するために、発信する目的、内容、対象と発信方法のよさを関連付けて思考し、発信方法を考えるという活動を設定する。その際、思考ツールを活用し、思考方法を明確にしたり、思考の過程を可視化したりする支援を行う。

また、情報を分かりやすくまとめ、発信する力を育成するために、参考となるリーフレットや新聞、動画などを提示し、まとめ方を工夫することができるようにする。その際、児童同士で何度も相互批評する場を設け、より課題の解決につなげる表現となるようにする。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ◎浄法寺の漆の生産の仕方や特徴を調べる活動を通して、浄法寺の漆のすばらしさやそれを支える人たちの努力や思いに気づき、浄法寺漆を誇りに思い、未来へつないでいこうという意識をもつことができる。
- ◎課題の解決につながる効果的な、発信内容・対象・方法を選択し、情報を整理し、分かりやすくまとめ、発信することができる。

○育てようとする資質・能力

<課題設定能力>

- ・浄法寺漆の現状を知り、今後の浄法寺漆について考え、未来につないでいくにはどうしたらよいかという課題意識をもち、浄法寺漆を残す方法を考え、課題解決の計画を立てることができる。

<課題追究能力>

- ・体験活動や資料から必要な情報を収集・選択したり、ゲストティーチャーの話を聞いたりして、課題を解決することができる。

<コミュニケーション能力>

- ・場に応じた適切な言葉遣いで伝えたいことを話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりすることができる。
- ・異なる意見や他者の考えを受け入れながら、批判したり、根拠を明確にして話し合ったりすることができる。

<表現・発信の能力>

- ・調べたことを効果的に伝えるために、どのよう発信方法が適切か考えることができる。
- ・調べたことや伝えたいことをPR動画にまとめたり、リーフレットに書き表したり、様々な方法で情報を整理し分かりやすくまとめ、発信することができる。

<自己評価能力>

- ・浄法寺漆を未来へ残していこうとする意識をもち、浄法寺漆の未来を考え、調査、発信する活動を通して自分ができるようになったことに気付くことができる。

(2) 単元の指導計画 (30時間)

過程	主たる活動と評価規準	支援
つかむ (2)	<p>○浄法寺漆のすばらしさを知る。(1)</p> <p>○浄法寺漆の現状を知り、課題を設定する。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>浄法寺漆の現状を知り、今後の浄法寺漆について考え、未来につないでいくにはどうしたらよいかという課題意識をもっている。 <課題設定能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・浄法寺塗りと、プラスチック製の漆器を比較し、その違いから、浄法寺塗りの手触りのよさ、重み、口当たりのよさなどに気付いたり、世界遺産の修復にも使用されていることに気付いたりできるようにする。 ・漆かき職人や原木の数が少ないことをグラフや表で提示し、浄法寺漆を残す方法を考え、実行しようとする意欲をもつことができるようにする。
みとおす (3)	<p>○浄法寺漆を残す方法を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄法寺漆のよさを知ってもらい、やりたい人を増やす。 ・自分たちが後継者になる。 ・市からお金を出してもらって、漆がたくさん採れる環境を作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今後の浄法寺漆について考え、浄法寺漆を残すにはどうしたらよいか考えている。 <課題設定能力></p> </div> <p>○浄法寺漆を残していくために、どんなことに取り組むか決める。(1)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>浄法寺漆のすばらしさと現状をたくさんの人に知ってもらい、原木や漆かき職人を増やすために協力してくれる人を増やそう。</p> </div> <p>○浄法寺漆のよさを伝える計画を立てる。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>課題解決の計画を立てている。<課題設定能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者が不足していることや、原木の数が少ないことをもとに、浄法寺漆を未来に残すための具体的な方法が考えられるようにする。 ・発信する対象についても考えることで、強い課題意識をもって課題追究ができるようにする。 ・前単元の学習の流れを提示し、どのような手順で課題を解決していけばよいか考えることができるようにする。
やってみる (11)	<p>○浄法寺漆のよさを知るために調査を行う。</p> <p>①インターネットや本、資料で調べる。(3)</p> <p>②漆掻き作業見学・まとめ (3)</p> <p>③インタビューの計画を立てる。(2)</p> <p>④漆掻き職人さんや漆塗り職人さん、漆産業課の方にグループ別でインタビューをする。(1)</p> <p>⑤インタビューのまとめをする。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の課題設定を生かし、意欲をもって調査活動ができるようにする。 ・インターネットを使って調べる際、活動が充実するために検索するサイトをあらかじめいくつか絞っておき、紹介する。 ・実際の作業の様子を見学することで、職人の技術や苦勞に気付くことができるようにする。 ・調査したことをまとめることで、さらに知りたいことや疑問を発見し、インタビューの際に、課題を追究できるようにする。 ・お聞きしたことで新たに知りたいことができたなら、さらに質問するように促す。 ・インタビューの内容をまとめ、ほかのグループに発表できるようにする。

	<p>⑥インタビューで分かったことを発表し合い、情報を共有する。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>体験活動や資料から必要な情報を収集・選択したり、ゲストティーチャーの話を聞いたりして、課題を解決することができる。 <課題追究能力></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>場に応じた適切な言葉遣いで伝えたいことを話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりしている。 <コミュニケーション能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・違うグループで発表し合うことで、他のグループで聞いた内容が理解できるようにする。
<p>まとめる・ひろげる(13)(本時19/30)</p>	<p>○調べて分かったことの中から、特に伝えたいことをまとめる。(1)</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○伝えたいことをどのような方法で発信するか考える。(2) (本時)</p> </div> <p>○選択した方法で、情報を整理し、分かりやすくまとめ、発信する。(10)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べたことを効果的にPRするために、どのような方法が適切か考え、調べたことをPR動画にまとめたり、リーフレットにかき表したりしている。 <表現・発信の能力></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>異なる意見や他者の考えを受け入れながら、批判したり、根拠を明確にして話し合ったりしている。 <コミュニケーション能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えるべき内容をまとめることで、次時で発信内容にあった方法が選択できるようにする。 ・座標軸を使って、それぞれの発信方法の特色を可視化することで、根拠を示して話し合うことができるようにする。 ・参考となるリーフレットや新聞、動画などを提示し、まとめ方を工夫するように促す。 ・児童同士で何度も相互批正する場を設けることで、より課題の解決につながる表現となるようにする。
<p>ふりかえる(1)</p>	<p>○活動を振り返り、感じたことやこれからの自分の行動について考えたことを論述する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>浄法寺漆を未来へ残していこうとする意識をもち、浄法寺漆の未来を考え、調査、発信する活動を通して自分ができるようになったことに気付いている。 <自己評価能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体を振り返ることで、自分ができるようになったことに気づき、これからも浄法寺漆を残していこうとする意識をもつことができるようにする。

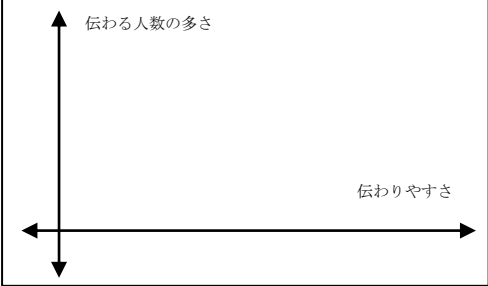
4 本時の指導(18/30時)

(1) 目標

- ・発信する目的、内容、対象と発信方法のよさを関連付けて思考し、発信方法を考える。

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	教師の支援
<p>導入(3分)</p>	<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>協力してくれる人を増やすために、どのような方法で浄法寺漆のすばらしさや現状を伝えるか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返り、何のために、調べたことの中で特に誰に何を伝えたいのか確認する。

<p>展開 (37分)</p>	<p>2 PRする方法を考える。</p> <p>(1) グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人を考えを発表する。 座標軸を使いながら話し合う。  <ul style="list-style-type: none"> 班の考えをまとめる。 <p>(2) 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループの考えを黒板にはる。 よりよい方法について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの発信方法の特徴を確かめる。ラジオ、ポスター、新聞、模造紙、動画、リーフレット、テレビ、街頭演説、ウェブサイト PRの目的、内容、対象、方法のよさといった話し合いの視点を確認することで、話し合いの論点がずれないようにする。 座標軸を使って、それぞれの発信方法の伝わりやすさや伝わる人数の多さを可視化することで、より優位(右上)な発信方法を分かりやすくする。 その方法を選んだ根拠を、伝えたい内容や対象と結びつけながら考えることができるようにする。 <p>座標軸の中に選んだ根拠などを書き込むように促す。</p> <p>黒板の座標軸に、各班の選んだ発信方法を位置づけることで、発信方法を絞り込むことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べたことを効果的にPRするために、どのような発信方法が適切か考えている。 <表現・発信の能力></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>異なる意見や他者の考えを受け入れながら、根拠を明確にして話し合っている。 <コミュニケーション能力></p> </div>
<p>終末 (5分)</p>	<p>8 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の内容や、話し合いの仕方について振り返る。 感想を書く。 感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 座標軸を活用しながら話し合った様子を振り返り、話し合いで考えが深まったことに気付くことができるようにする。

(3) 評価規準

	ねらいを達成している児童	努力を要する児童への支援	評価方法
表現・発信の能力	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを効果的に伝えるために、どのような方法が適切か考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 座標軸を見ながら、伝える相手や内容に見合った方法を選ぶことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表 観察 ワークシートへの記述
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> 異なる意見や他者の考えを受け入れながら、根拠を明確にして話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 座標軸で優位(右上)にあるものを見つけて、それを根拠に意見を述べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表 観察 ワークシートへの記述

